

質問 人に優しい公衆トイレの整備を

答弁 場所によっては廃止を考えます

あんどう みか
安藤 美佳 議員



質問

公園等を除く、7カ所の公衆トイレは、とても綺麗に清掃されています。ほとんどが和式仕様で耐用年数を超過しています。

洋式トイレが多い現代、足腰が弱い高齢者や和式に慣れていない子どもたちには利用したくて利用できない環境であり、駐車スペースがない所は不便さを感じます。

9月に行われた地域社会と若者がつくる新しいミライのかたち『ミチシロカ』の中では、「観光名所となるような話題のトイレにしてみては」と意見がありました。

わかりやすく観光やキヤ

町長答弁

清掃が行き届いていると評価をいただいた一方で、和式トイレであることを駐車スペースがないことなどの不便さ、観光名所となるような話題性のあるトイレの検討・案内看板の改善・情報発信型公衆トイレの構想など、若者や町民が感じる意見を踏まえた指摘であると認識をしています。

7カ所のトイレはいずれも、建設から30年近く経過し老朽化しています。時代の変化とともに利用状況も変化しているため、今後、利用実態も把握したうえで、維持管理費や費用対効果も十分に検証し、場所によっては廃止も検討していくかなければならないと考えています。

質問 人口減少対策と男女共同参画社会の実現をめざして

答弁 女性が活躍しやすいまちにつながるよう対応してまいります

まつむら やすひろ
松村 康弘 議員



質問

10月15日の男女共同参画に関する講演会で、町長の冒頭の挨拶に衝撃を受けてこの質問をします。我町の最近の人口減少的原因について、学業を終えた後も札幌で就職し中標津に帰つてこないことが女性に多く、これに対処する方法を様々に考察してみますが、決め手になるようなアイデアを思いつけないしていました。

しかし、町長は中標津において男女共同参画社会を実現することがこの問題を解決する大きな柱ではないかと話されました。役場庁舎内においても女性の部長は現在皆無です。子育ての大半を担う女性がキャリアを積み上げていくことは大変なことで、事務方のトップである副町長は、このような状況をどう

お考えになるかお聞かせください。

副町長答弁

本町では15歳から24歳の女性の転出が多く、男性に比べて戻るケースが少ない状況です。男女がお互いを尊重し合い、社会のあらゆる分野で十分に能力を発揮できる男女共同参画社会は、大事な取り組みと考えます。

部長職はいませんが、課長職の割合は18%と6%増加し、今後も職務経験や能力を踏まえて登用していくます。

再質問

これから登用していく女性に、手当てがしっかりとできるのでしょうか。

町長答弁

役場の環境整備から取り組み、女性が活躍しやすいまちにつながるよう対応してまいります。

他の一般質問

- 計画別かばちゃプロジェクトを多くの町民に見てもらうための取り組みを行っています。